

# 平成9年度 和歌山県文化功労賞

かじ わら しげ お  
梶 原 榮 夫 (号 梅友齋)

住 所：和歌山県和歌山市  
出 身 地：和歌山県和歌山市  
生 年：昭和4年

華道を通して、活ける者と観る者の心を開花させ、豊かな感性を育むとともに、美術の振興に努めた、氏の地域文化に対する功績は多大である。

## ◎業績及び経歴

氏は、昭和22年卍字流華道に入門し、精進を重ねる。昭和30年には「関西いけばな作家集団」結成にあたり尽力し、会員として各地でグループ展を開催するとともに、「いけばな有機の会」同人として、華道を志す者の活動の場を広げるとともに、その魅力を広く紹介する。

昭和33年からは、氏の卓越した技術により、大阪松坂屋で開催された、全国から選りすぐられた華道家による「日本いけばな選抜百人展」に連続出品する。

また、和歌山県美術展覧会においていけばな部門の審査員を務め、後進の指導にあたるなど、本県における華道の発展に尽力し、その功績により昭和45年には、和歌山県華道連盟副会長に就任した。

昭和50年には、卍字流華道家元を襲名するとともに、さらにその活動を広げ、同年「日本いけばな芸術協会」において評議員として、また昭和59年からは「日本いけばな研美社」において同人として活躍する。

昭和62年には、県下で活動している華道団体が発展的に合併し、県華道界の統一的団体である「和歌山県華道家協会」の発足に尽力し、氏は、その功により副会長に就任するとともに、平成3年からは会長として、華道と地域文化の向上発展に多大な貢献をした。

またその活動は、華道だけに留まらず、「和歌山県美術家協会」において本県美術文化の振興に献身的な努力を続け、平成6年には副会長に推挙され就任した。

## ■現在

卍字流華道家元  
和歌山県美術家協会副会長  
和歌山県美術展覧会審査員  
和歌山県華道家協会相談役